

御弘通再始動! 禍を転じて福と為す!



ありがとうございます。コロナ禍も出口が見えて来ました。政府は「新しい日常」を提唱しています。私たち佛立信者も世間の一員ですから日々の生活は勿論のこと、信行ご奉公もパソコンやスマホなど新しい技術を積極的に取り入れて、「新しい信行」を確立しましょう。

さて、本年度のご奉公も6月から後半戦となります。お祖師さまは「わざはひ(禍)も転じて幸となるべし。あひかまへて御信心を出し此御本尊に祈念せしめ給へ。何事か成就せざるべき」とお示しです。

前向きに考えますと、コロナのお陰で日常信行の見直しが出来ました。オンライン参詣などで「新しい信行」も少しずつ進んでいます。コロナ禍転じて教化成就! 今までグッと辛抱したご弘通ご奉公の熱い思いを一気に解き放って、「教化・法灯相続つづれ織り運動」に励みましょう。さあ! 御弘通再始動です!

御教歌
吾祖師の御なは日蓮世の人の
こころのやみを照す妙法
弘通部長 山内良驚記



合掌
弘通部長 山内良驚記

見直そう わが家のお看経



こんな時だからこそ、自宅での信行ご奉公を改良しよう「お看経編」

佛立信者の修行の中心は、口に「南無妙法蓮華経」とお唱えする「口唱行」です。ご本尊に向かい、唱え重ねることによって、御題目にこめられた功德・お慈悲を頂戴することができるようになります。願い事をするにも、先祖の供養をするにも、口唱なくして成就はいたしません。言い換えれば、「学業成就にはあの神社」「安産はあそこのお守り」などと、神社仏閣をめぐる必要などないのです。

そして、有難いことに口唱は幼いお子さんからご年配の方に至るまで、誰にでもやる気さえあればできる修行です。朝のお看経は一日の平穩を願い、夕方のお看経はその日を無事に過ごせたことに対する感謝の意を表します。怠ることなく、忘れることなく、家族揃って口唱信行に励ませていただきますよう!

また、家でのお看経にあたり、導師役・お給仕係・拍子木係など家族で交代して行うのも大変結構なことです。



師役・お給仕係・拍子木係など家族で交代して行うのも大変結構なことです。

Vol.15 R2.6.1
発行:本門佛立宗弘通局

第9支庁 四国布教区
高知 佛立寺
おおにしまさひろ
大西正裕・幸代さん



私は平成19年、父の帰寂を機に信心改良を誓いました。以降、御講願主にならせていただき、御導師の随伴として台北佛立寺など遠方へのお参詣もさせていただきましたが、私はバーを経営しており夜中心の生活であるため、専らご信心は宗外から嫁いできた家内が積極的にご奉公してくれていました。



そんな中、新型コロナウイルス対策でお店の営業を自粛していた4月中旬、39度の発熱があり、大事をとり夫婦ともお寺・御講参詣を自粛し家での信行に励むことにしました。

この自粛の18日間、家でのお看経・御宝前のお給仕をする時間が増えました。結果的に、熱が出たのは1日のみ、他の症状も全くなき感染はありませんでした。感染していなかったことはお計らいですが、この度のことで、今まであまりできなかった夫婦揃ってご信心に励むことができる時間がいただけただけは大変なお計らいです。今後も家族揃ってのご奉公に精進します。

オンライン参詣に挑戦。

- 相互にコミュニケーションが取れるツール
 - ・御講、お助行、会議などにおすすめです
 - ・お互いに顔を見ながらビデオ通話が可能です

- ①LINE (ライン)
無料で最大200名まで接続可能 (参加者はLINEアカウントが必要)
- ②Skype (スカイプ)
無料で最大50名まで接続可能 (参加者はSkypeアカウントが必要)
- ③zoom (ズーム)
無料 (40分以内) で最大100名まで接続可能 (有料版は時間無制限) 参加者の登録は必要ありません
- ④Google Meet (グーグルミート)
無料で最大100名まで接続可能 (参加者はGoogleアカウントが必要)



- お寺から生中継できるツール
 - ・朝参詣、夕看経、御総講などにおすすめです

- ①YouTube (ユーチューブ)
無料で生中継可能 (主催者はアカウント登録が必要です) 一般公開 (誰でも視聴可能) と限定公開の設定ができます
- ②Facebook (フェイスブック)
無料で生中継可能 (主催者・視聴者ともにアカウント登録が必要です) 一般公開 (誰でも視聴可能) と限定公開の設定ができます

※ご質問がございましたら弘通局までご連絡ください

第1支庁 京都布教区 伏見 妙福寺 長谷川マサ子さん

妙福寺では4月7日より、朝参詣や御修行等への参詣を原則禁止とし、その代わり本堂からYouTubeにてライブ配信をおこなう「オンライン参詣」を取り入れました。当初は操作に不慣れな方も多く、不安もありましたが、1カ月半経過した現在、チャンネル登録者数約90名(多くが70歳以上の方) 迄伸び、喜びの声を数多くいただいております。

なかでも先日90歳の誕生日を迎えた長谷川マサ子さんは「お寺にお参詣している時よりもタブレットの方がよく聞こえますし、かえって年寄り向きでええと思います。目の前に自宅の御宝前とお寺の御宝前があり、ガンの音がタブレットを通して家に響き渡る。なかなか敵かな感じですよ。そして、以前よりもお給仕させていただいたお看経、お看経させていたただいた感じが、お寺に行けるのが一番だと感じています」と話しておられます。



妙福寺住職 松本現薫記